



愛知県立旭丘高等学校漕友会会報

第6号 平成 17年 2月 26日 発行

発行者: 〒461-0032 名古屋市東区出来町3丁目6の15

愛知県立旭丘高校内 愛知県立旭丘高等学校漕友会

TEL:052-721-5351

FAX:052-723-6825

事務局e-mail: yyyama@z2.zzz.or.jp 山本芳敬(旭丘27回)

chu@ma.ccnw.ne.jp 丹羽忠司(旭丘8回)



ご あ い さ つ

旭丘高校漕友会会長 長谷川 誠

漕友会会員の皆さまには、ご清祥のこととお慶び申し上げます。昨平成16年は、年初の総会で組替えを決めた新しい漕友会役員体制の一年目でありましたが、大変に充実した活動を行なうことが出来ました。

何とんでも全国高等学校総合体育大会(インターハイ)高校ボートのメイン種目であるクオドルプル(四人漕ぎスカル)で念願の全国制覇を果たし得たことは最高の喜びでありました。

漕友会主催の祝勝会(9月26日ホテルアソシア)も盛会でありましたし、鯨光会の顕彰式(10月22日中日パレス)での顕彰に際しては二百数十名の出席者から大祝福を受けました。

顕彰式へのボート部OB出席者は少なかったのですが、一中・旭丘

OBの皆さんからの大きな歓声と拍手に私は胸がときめき目頭が熱くなりました。

国体でも女子シングルスカルの入賞があり、現役は大きな成果を上げました。

一方OBは、新体制の役員、特に旭丘12期を中心にして毎土曜日と決め練習を重ね、いくつかのレガッタへの出漕や琵琶湖のフィックス遠漕会も例年通り行なって、まずまずの成績をおさめました。

私も土曜日の練習に出掛けその度に艇庫で現役の諸君とお会いしましたが、みんな熱心に練習に取り組んで居り心強く感じたものです。

私は予てより、シングルスカル中心の練習はどうも個人中心でボートの良さの一部しか経験出来ないのではないかと懸念して参りましたが、「それなりの連帯は育まれている」と今回のクオド優勝で少しは安心した次第です。

5月に「現役生だけでなくOBの誰でも漕友会メンバーが自由に漕いで頂けるように」と思ってシングルスカル(烈鯨と命名)を寄贈させて頂きました。ところが、往年のフィックス



組は誰もシングルスカルに乗れませんでした。

小学生が一輪車にスイスイ乗るのに、大人はとても乗れないのと同じです。

琵琶湖遠漕会の折に、丹羽幹事長が「チームズで漕いでみたい」と夢の発言をし、練習に集まる皆の夢に拡がって「近い将来ヘンレーレガッタを観て、自分達もチームズで漕ごうではないか」ということになりました。

「チームズにはフィックスもナックルもない」そこで、私も含めて（シングルスカルには乗れない）（シェル艇も経験がない）フィックス組、漸くナックルフォアで年寄りレガッタに出ているだけの**OB**達がシェルフォアやダブルスカルで「60才や70才の手習い」を始めました。

今年平成17年の内には、シェル艇にもスカル艇にも、スピードは別にして何とかバランスよく乗れるようになるだろうと期待しています。

こうしたお父さんを通り越してお祖父さんの夢や頑張りに、現役生たちが将来を見、刺激として捉えてくれたら嬉しいことだと、また勝手な夢が膨らんでいます。

これからの漕友会、現役の諸君から見てお父さんに当たる世代の**OB**の皆さんが、更に諸役を担って下さり、レガッタを初め種々の催しにも沢山参加して下さいを期待します。

今年は、万博もあります、8月28日から9月4日まで、長良川国際レガッタコースでアジア初の世界ボート選手権大会が開催されます。ボート競技への一般の関心も一層高められてくると思います。

「ボートをやってよかった」と思う後輩達がより多く輩出するような環境を作りつつ、ボートを通じて、夫々の年代の青春を甦らせて下さることを念じてご挨拶と致します。

2005年 漕友会定期総会および新年会について（報告）

幹事 伊神 基博（12期）

1月3日、名古屋市中区栄の「中国大飯店」に会場を移し、恒例の漕友会定期総会を開催いたしました。

当日は、長谷川誠会長（7期）始めOB・OG会員50名と大学受験を控えた3年生を除く、1・2年生の現役ボート部員17名の総員67名の会員に出席頂き、4件の議案を審議し、役員会からの提案どおりの内容で、承認・可決いたしました。

承認した事項は、①2004年事業報告 ②同決算報告ですが、その冒頭で、現ボート部顧問 山本芳敬氏（27期）から、男子クオドルプルが旭丘ボート部創部以来初のインターハイ優勝の快挙をはじめ、現役の活動状況について報告があり、2003年に続く好成績に、“強い旭丘ボート部”の新しい伝統が築かれつつあることを実感させられ、総会の名を持って、現役の諸君に敬意と祝意を表明いたしました。

可決した事項は、①2005年事業計画 ②同予算の2件ですが、特記事項は、現役支援策の一つとして会員の寄付を募りクオドルプル艇の寄贈を行う事が、本年の1大事業と位置付けられた事であり、OB会員の諸兄・諸姉には別途ご厚志の寄付をお願いすることといたしております。

(2004年の事業計画にありましたシングルスカル艇の寄贈の件は、資金を全額長谷川会長にご負担いただいたことが報告されました。)



なお、事業計画提案に際して丹羽忠司幹事長(8期)から昨年の総会の席上、“初春の夢”として呼びかけられた「ボート競技発祥の地、テームズ川でエイトを漕ごう」の実行時期を、2006年秋と決めました。この件につきましては、長谷川会長はじめ賛同者数名により、昨秋からシェルフオア…、スカル艇での練習を開始した旨の報告があり、更にオアズマンとしてのロマンに賛同する会員の参加を歓迎すると呼びかけら

れました。

総会に引続く「新年会」では、現役の諸君から、自己紹介と今年の抱負および2004年に並ぶ成績を目標とする、との力強い決意表明が異口同音であり、その都度先輩会員から温かい激励のエールと拍手が贈られました。

OB・OG会員も出席者全員が、若い会員から順に近況報告を行いました。

最後に、愛知一中校歌「山には虎狼」、旭丘高校校歌、ボート部部歌「木曾の高嶺」を全員で大合唱した後、愛知県県議 高木浩司氏(24期)の発声による万歳を三唱し、散会しました。

(現役生徒からは今シーズンの活躍を期して決意表明が述べられました)

峰 時 (2年)	去年インターハイで優勝した先輩たちのように頑張りたいと思いますので応援よろしくお願いします。
鈴木 大地 ^{だいち} (2年)	いつどんな時でも自分に負けないように精神的に強い人を目指して行きたいと思います。
藤田 幸浩 (2年)	日々、恵まれた環境で練習できることに感謝しております。
山本 剛志 ^{つよし} (2年)	もうすぐ引退ですが、精一杯がんばります。応援よろしくお願いします。
上原 一紀 (1年)	自分の満足できるような結果を出せるように精一杯頑張りたいと思います。
神谷 知宏 (1年)	技術も体力も、まだまだ未熟ですが頑張りますのでよろしくお願いします。

近藤 洋平 (1年)	いい結果を残せるように毎日練習をがんばっていききたいと思います。応援よろしくをお願いします。
鈴木 龍二 (1年)	スタミナをつけて速くなりたいと思います。練習がんばります。応援よろしくをお願いします。
竹内 裕貴 (1年)	1秒でも速く漕げるよう一生懸命練習します。応援よろしくをお願いします。
野呂 康皓 (1年)	最近、筋トレをやって、体力・筋力ともについてきたので、この調子でがんばります。
前田 健太郎 (1年)	みんなに迷惑をかけないように一生懸命頑張りたいと思います。
山田 真 (1年)	一日一日の練習を大切にし、少しずつレベルアップしていきたい。
石坂 知世 (2年)	ボート部で 泣いて笑って 早二年 わたしの青春 ボートと共に
上田 梨絵 (2年)	自分で納得のいく結果が出せるように、後悔することのないよう、頑張っていきたいです。
戸根 曜子 (2年)	目標をしっかり持って毎日中身の濃い練習にしたい。初志貫徹で頑張ります。
森 恵美 (2年)	残り少ない部活動生活の一日一日を大切にし、できる所まで、やれる所まで頑張りたいです。
山口 朋美 (2年)	今まですごく充実した時間を過ごせました。これからも毎日を大切にして、がんばりたいと思います。
久保 悦子 (1年)	体は小粒ですが、ぴりりと辛い。そんなクルーを目指して頑張ります。



平成16年漕友会事業報告

- | | | |
|----------------|-------|------------------------------|
| 1. 漕友会総会 | 1月3日 | 「百楽」 |
| 2. 「漕友」発行 | 2月26日 | |
| 3. 中川運河ロングレース | 3月28日 | 中川運河小栗橋～艇庫
KF2艇、W1X1艇 出漕 |
| 4. マスターズレガッタ | 4月25日 | 愛知池漕艇場
KF3艇、W1X1艇 出漕 |
| 5. 信毎諏訪湖レガッタ | 5月16日 | 下諏訪町漕艇場
KF1艇、W1X1艇、W2X 出漕 |
| 6. 名古屋市民スポーツ祭 | 8月3日 | 中川運河漕艇場
M1X1艇、W1X1艇 出漕 |
| 7. 琵琶湖周航 | 8月28日 | 琵琶湖 今津～竹生島 往復
FIX 1艇 |
| 8. 名古屋レガッタ | 9月19日 | 中川運河漕艇場
KF2艇、M1X1艇 出漕 |
| 9. インターハイ優勝祝賀会 | 9月26日 | ホテルアソシア名古屋
ターミナル |

※ **KF**：ナックルフォアー **FIX**：フィックス **M1X**：男子シングルスカル **W1X**：女子シングルスカル
W2X：女子ダブルスカル

平成17年 旭丘高校漕友会事業予定

- | | | |
|---------------|----------|-------------|
| 1. 漕友会総会 | 1月 3日 | 中国大飯店 |
| 2. 「漕友」発行 | 2月26日 | |
| 3. 中川運河ロングレース | 3月27日 | 中川運河 小栗橋～艇庫 |
| 4. マスターズレガッタ | 4月24日 | 愛知池漕艇場 |
| 5. 信毎諏訪湖レガッタ | 5月15日 | 下諏訪町漕艇場 |
| 6. 琵琶湖周航 | 7月30～31日 | 琵琶湖今津町出航 |
| 7. 名古屋市民スポーツ祭 | 8月 7日 | 中川運河漕艇場 |
| 8. 名古屋レガッタ | 9月18日 | 中川運河漕艇場 |

備考：招待があれば岩田川にて津高校艇友会との対抗戦あり

2004年度会計報告

収入の部		支出の部	
前期繰越金	634,297	総会費	325,000
年会費	532,000	現役助成 1	150,000
寄付金	611,950	優勝祝賀会	352,750
ご祝儀等	160,000	漕友発刊費	55,954
雑収入	24	レース出漕料	140,200
総会費	372,000	通信費	87,610
優勝祝賀会	359,000	対外協会費	3,070
		事務費	4,574
		HP維持費	6,810
		雑費	45,695
		(支出小計)	1,171,663
		次期繰越金	1,497,608
収入の部計	2,669,271	支出の部計	2,669,271

上記のとおりご報告申し上げます。

2005年1月3日
会計担当幹事 友松 靖夫

2004年度監査報告

帳票証憑等関係書類照合監査の結果、いずれも適正に処理されており経費使用運営についても妥当なものと認めます。

2005年1月3日
監査 家田 安啓
監査 桑山 栄一

2004年行事「琵琶湖遠漕」(2004. 8. 29 中日新聞より)



琵琶湖遠漕翌日の中日新聞に旭丘ボート部 OB による遠漕の記事が左記の写真入りで紹介されました。

2005年度予算計画

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,497,608	総会費	350,000
年会費	600,000	現役助成 1	150,000
寄付金	300,000	現役助成 2	1,800,000
行展会費	700,000	漕友発刊費	60,000
		レース出漕料	140,000
		対外協会費	3,070
		市協借艇料	50,000
		対外行事費	350,000
		通信費	80,000
		事務費	3,000
		HP維持費	7,000
		雑費	30,000
		(支出小計)	3,023,070
		次期繰越金	74,538
収入の部計	3,097,608	支出の部計	3,097,608

上記の通り予算計画いたしております。本年は4月～5月に現役旭丘高校ボート部にクオドルプル艇一艇寄贈致す計画となっております。就きましては、年会費および寄付金等特段のご協力をお願いいたします。出来ますれば、3月中にご送金賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2004年度会費および寄付金納入者ご芳名

(敬称略 入金順 重複者重複記載 単位：円)

お名前	金額	お名前	金額	お名前	金額
谷村 龍児	10,000	高橋 和男	10,000	和田 次郎	5,000
奥村慎太郎	3,000	佐藤允企士	8,000	小川 裕司	10,000
内藤 晴二	5,000	水野 嘉則	5,000	大久保 満	10,000
水野 義則	5,000	太田 均	5,000	河村 直彦	5,000
石川 隆之	6,000	佐伯 総太	5,000	脇田 弘仁	50,000
長谷川 誠	10,000	稲田 昭	5,000	内藤佐和子	10,000
井上新一郎	5,000	福井 政彦	5,000	杉田 朗	20,000

林 博夫	10,000	佐分 敦郎	15,000	河村 剛	10,000
川本 義昭	10,000	伊藤 弘之	15,000	金田 遥	3,000
伊藤 壽洪	20,000	名倉 英一	5,000	斉藤 敏彰	5,000
深山 靖	10,000	近藤 富夫	5,000	河辺太加志	5,000
澤本 秀夫	5,000	内堀 典保	10,000	川浦 慎平	5,000
友松 靖夫	10,000	久田 敏夫	2,000	吉倉 孝也	5,000
田中 康夫	20,000	右高 金守	10,000	間 正博	5,000
杉山 章	5,000	川本 文彦	5,000	玉本 晃	5,000
鈴木 道辰	15,000	島田 恵	5,000	鈴木 隆容	7,000
加藤 澄一	30,000	池田 慎司	5,000	脇田 弘仁	5,000
加藤 康之	5,000	丹羽 忠司	10,000	虫鹿 健博	5,000
安田 治郎	5,000	石井 敏彦	5,000	服部 岳	3,000
長崎 博三	10,000	磯部 喜彦	10,000	早川 晴雄	5,000
川島 光晴	5,000	堀 悟	10,000	中島 潔	5,000
荻子 昌	10,000	所 浩英	8,000	深山 靖	10,000
荒川 三郎	15,000	前田 路矢	5,000	福井 政彦	10,000
青山 葆	10,000	千田 勝二	10,000	向井孝太郎	5,000
慮 泰男	5,000	中川 亮	6,000	鈴木 幸平	8,000
伊神 基博	20,000	尾関 繁俊	15,000	友松 靖夫	10,000
早川 晴雄	10,000	山本 達郎	5,000	渡辺 豊	10,000
佐藤允企士	3,000	加藤 信介	5,000	長谷川 誠	S 新艇
竹川 昌和	5,000	深見 德行	5,000	長谷川 誠	3,000
鈴木 道辰	50,000	川本 文彦	5,000	丹羽 忠司	3,000
樋口 真清	50,000	坂田 隆	5,000	内藤 晴二	3,000
三好 秀吉	10,000	山元 収	50,000	尾関 繁俊	3,000
川瀬 哲男	5,000	桑山 栄一	20,000	谷村 龍児	3,000
和気 厚至	8,000	篠田 朱里	10,000	友松 靖夫	3,000
中村 乙水	3,000	杉 光	5,000	伊神 基博	3,000
加藤 澄一	50,000	田淵 哲雄	5,000	渡辺 豊	3,000
水谷 晃	5,000	樋口 満	15,000	樋口 満	3,000
橋口 祥子	3,000	樋田 毅	5,000	河辺太加志	3,000
神田 大介	5,000	吉田 有香	10,000	佐藤 綾人	3,000
岡部 好男	5,000	尾石 紀之	5,000	森田 哲也	3,000
浅井佐保子	10,000				

治に居て乱を忘れず

愛知県立旭丘高等学校長 野々部幸藏

漕友会の皆様には、旭丘高校ボート部の活動に対しさまざまな温かいご支援を賜り、ありがとうございます。

私は、今年で旭丘高校長在任6年になりますが、その間、ボート部員の諸君から輝かしい実績というプレゼントをいただきました。平成11年の第54回国民体育大会少年男子ダブルスカル優勝、平成14年の全国高校総体女子舵手つきクオドルプル3位、平成15年の全国高校総体女子ダブルスカル2位及び第58回国民体育大会少年女子シングルスカル3位、そして平成16年の愛知県高校総体男子総合優勝及び全国高校総体男子舵手つきクオドルプル優勝等々のプレゼントです。将来もありますので“全盛期”との言葉は使いませんが、ハイレベルの活況を呈しているといえます。こういう時こそ、「治に居て乱を忘れず」の意味するところを理解し、より高きを目指すうえで課題を明確にしつつ、努力精進に励んでほしいと思っています。

過去、現在、未来と連なる漕友会の輝かしい伝統の継承・発展に寄与する現役の生徒の頑張りや実績は、先輩の皆様のご支援の賜物です。重ね重ねのご厚情に感謝申し上げるとともに、漕友会の今後一層のご隆盛と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げご挨拶といたします。



「栄光の架け橋」(2004年の活動を振り返って)

顧問 片山 元 (37期)



2004年は3月の全国選抜でシーズン入りしました。男子舵手つきクオドルプル、男子シングルスカル、女子シングルスカルの総勢10名の選手を連れて、天竜での2000mレースに臨みました。女子シングルスカルの田上優が準決勝で、最終的に優勝した美方高校の田辺と同じ組になり、惜しいところで決勝に上がれず、不運の5位入賞となりました。一方男子舵手つきクオドルプルの大西知広、水野薫、平岡徹太郎、皆川晃法、葛原雄矢は、準決勝で今治西高校と当たりました。順当に勝ちあがれる相手だったのですがスタートで少々先行され、抜くことができそうになった800m地点、腰痛からオールが止まって万事休す。このときほど「信じるしかない」と自分に言い聞かせたことはありません。自転車での追走ができなくなって、ゴールのほうに目を凝らすと、なんだか追いついて

いっているようで最後には差しているようでした。信じられた自分がちょびっと嬉しく、また
栈橋に戻ってきたときにはオールが一本なくなっていて、(逆転ゴールして喜びのあまりオール
捌きを誤った?) 印象深いレースになりました。決勝では関西高校に優勝をさらわれたので
すが、陸に上がって流した準優勝の悔し涙、そして優勝者に贈る拍手に彼らの成長ぶりをみた
のでした。

8月の全国高校総体ボート競技は広島県福山市芦田川漕艇場で開催されました。全国選抜大
会同様、過去最多10名の選手を引率しました。多発していた腰痛の件もありましたので、選



手には大奮発して新幹線に乗せました。宿
舎では夕食、朝食ともにバイキング、昼食
時は格安ファミリーレストラン「J o y f
u l」に直行し、お腹も満たされていたと
思います。予選では男子シングルスカル鈴
木大地の健闘もあって、3クルーとも勝ち
あがったので、次の日は、国宝明王院五重
塔、坂本龍馬の「いろは丸事件」で有名
な鞆の浦を、総合学習を兼ねて観光しまし
た。鞆の浦が瀬戸内海の潮の満ち引きの分岐
点であったので、海上交通の中継地として
栄えていたことを、鞆城跡に建つ鞆の浦歴

史民俗資料館で学習しました。倉を改造した「いろは丸」記念館にて(秘蔵の写真)

大会最終日になりました。女子シングルスカルの田上優は、準決勝のあがり確実で、決勝に
備えてもよいかな?と思われましたが、芦田川の水は冷たく非情でありました。無念の涙。一
方男子舵手つきクォドルプルは、これを知ってか奮起し?準決勝を1位で通過しました。いよ
いよ決勝です。宿敵関西は5レーン、旭丘は6レーン。私は決定的瞬間を写真に撮ろうとゴール
手前30mに陣取りました。スタート前、艇の具合悪し。大丈夫か。発艇を遅らせたので、
フライング1回で除外となるペナルティーを受け緊張感高まる。無事スタートできたことを望
遠レンズ越しに確認して気持ちを落ち着ける。それからずうとデッドヒートで、どちらが勝
っているのか実はよくわからない。近くの人が「5レーンが出てる」と叫んでいたが、私が「い
ーや、うちが勝ってる」と信じる事ができたのは何故だろう。今もよくわからない。目
の前ではちょびっとでていた。そしてゴール。どちらが勝ったかわからない。結果を告げる
アナウンサーの声が、心なしか強張って震えて聞こえた。.....やった、優
勝だ。嬉し涙がキラリ。8月下旬、アテネオリ
ンピックテーマ曲のメロディーが頭から
離れませんでした。



9月には、彩の国まごころ国体が埼玉県戸
田オリンピック漕艇場で行われました。戸田
で漕いでいるボート現役の旭丘OBから声援を受けてのレースでした。メンバーの若返った男

子舵手つきクオドルプルは敗者復活戦で惨敗し、一日早く帰名することになりましたが、女子シングルスカルの田上優は7位入賞の健闘でした。以上のように2004年は躍進著しい年で、これに続けと、艇庫前の中川運河に架かる「いろは橋」が「栄光への架橋」であることを信じて、1、2年生が練習に励んでいます。

平成16年度 インターハイ優勝祝賀会 開催

インターハイ ボート・クオドルプル（男子漕士4名、舵手付）の部で見事優勝を果たした現役クルーに対し、漕友会主催で優勝祝賀会が9月26日（日）ホテルアソシア名古屋ターミナルにおいて開催された。当日、現役ボート部員24名、漕友会会員44名、ご招待者10名が参加した。12期の谷村龍児幹事の司会により進行した会は、まず10期の尾関繁俊漕友会副会長の開会の辞により開幕となった。早速、顧問の山本先生から選手紹介ならびにレースの様子がCDプロジェクターで大きな画面に映し出され、いやが上にも会場は大きな盛り上がりとなった。クルーならびに関係者の紹介は以下の通りです。

総監督 旭27期 山本芳敬 (旭丘教諭)
監督 旭37期 片山 元 (旭丘教諭)
コーチ 青山美紀

男子舵手付クオドルプル

C 大西知広 (3年)
S 水野 薫 (3年)
3 平岡徹太郎 (3年)
2 皆川晃法 (3年)
B 葛原雄矢 (3年)

少年女子シングルスカル国体

7位 田上 優 (3年)

キャプテンの皆川君からは「いつもバラバラのクルーであったが、この時は負ける気がしなかった」との当時の心境が披露された。



祝賀会は7期の長谷川漕友会会長の挨拶の後、来賓の大島宏彦鯨光会会長、奥泉明弘愛知県ボート協会会長、衣斐洋一名古屋市ボート協会事務局長、平田忠司名古屋港漕艇センター事務局長、吉川昭一津高校艇友会会長から祝辞をいただいた。最後に野々部旭丘高校校長より賛辞と今後の激励の言葉をいただいた。

長い前半の選手紹介やスピーチの後、8期の丹羽忠司漕友会幹事長の乾杯により歓談食事に移った。途中18期の水谷晃君の指揮で部歌、校歌、応援歌を唄いさらに会場を盛り上げた。その後、24期の高木浩司県会議員及び小川秀樹中部経済産業局長の音頭で万歳三唱をもって締めた。19期の田淵哲雄漕友会副会長による閉会の辞でもって祝賀会はお開きになったものの皆帰り難く、記念写真をグループで撮ったり、懇談を続けたりし、素晴らしかった祝賀会の余韻に浸った。

第31回 FASA 世界マスターズレガッタに同行して

樋口 満 (19期) (三菱ボートクラブ準会員・早稲田大学スポーツ科学部教授)

アテネオリンピックの余韻も残る9月2日から5日にわたって、ドイツ北部の港町であるハンブルグの郊外、エルベ川に設けられたボートコースにおいて第31回世界マスターズレガッタが開催された。今大会ではアテネオリンピックで使用された船も借艇として用意されていた。この時期ヨーロッパはもうすでに秋であり、かなり冷え込むときいていたが、やや肌寒かったのは練習日にあたる9月1日のみであり、大会期間中、風はときどき吹いたが、連日むしろ暑いと感じるほどの好天に恵まれた。レースは9月2日の夕方から始まり、3、4日のレースは1000mのコースで、3分間隔で、朝8時から夕方7時まで昼休みもなく行われた。応援でにぎやかなゴール地点をやや過ぎると、あたりは静寂の世界へと一変し、川の右岸には民家が点在し、手入れが行き届いたそれぞれの庭園には秋の草花が咲いており、左岸には牧場が広がり、のんびりと草を食む牛たちを見ることができ、空を見上げれば雁が隊列を組んで飛んでいた。

プログラムに記載されている統計資料をみると、今大会の参加国数は39カ国であり、参加者数(漕手のシートとコックスを含み、重複あり)は男性が約6200人、女性が約1400人であった。また、レース数は最終日のミックスレースを除くと、男性が372レース、女性が96レースとなっていた。参加したボートクラブのほとんどはヨーロッパ諸国であり、開催国であるドイツからは約400クラブ(いくつかのクラブの合同クルーを含む)、イギリスから約100クラブ、フランス、デンマークからそれぞれ約40クラブ、アメリカからは約60クラブであり、日本からは8クラブの参加であった。また、ブラジルからも9クラブが参加していたのには驚かされた。

マスターズレガッタはAからHまで8区分の年齢カテゴリーでレースが行われ、各年齢カテゴリーのクルー平均年齢は、A:27歳以上、B:36歳以上、C:43歳以上、D:50歳以上、E:55歳以上、F:60歳以上、G:65歳以上、H:70歳以上と規定されている。今大会のエントリーシート数(重複あり)でみると、男性(A:569、B:1078、C:1182、D:962、E:732、F:645、G:448、H:234)、女性(A:309、B:313、C:346、D:203、E-H:168)ともおよそ40歳代で構成され

る C カテゴリーの参加が最も多く、年齢が高くなるにつれて参加数が徐々に低下していく傾向がある。これらの数字はヨーロッパでは生涯にわたってローイングを楽しんでいる人々がひじょうに多く、ローイングは健康管理さえしっかりできていれば、高齢になっても行うことができるスポーツであることを示唆している。

一方、わが国からの参加者は 50 歳代を一部含むものの、ほとんどの参加者が 60 歳以上である。国内のマスターズ大会においてもこの傾向は変わらないと思われるが、その理由としては、わが国の 30 歳代から 50 歳代の人々は男女を問わず多忙であり、ローイングを気軽に楽しめる環境が身近にないということがあげられるであろう。今回、私は三菱ボートクラブ (MBC) のメンバーに同行し、最終日に G カテゴリー・ミックスエイト (男女各 4 人の漕手) のコックスを務めた。レースでは全員が精一杯漕ぎきり、ゴールした後すぐに台船に船を着けるのがもったいなくて、クーリングダウンを兼ねて、ゆっくりと川を遡り兩岸の風景を楽しんだが、これはクルー一同にとってほんとうに至福のときであった。

MBC クルーは第 27 回大会から毎回このマスターズレガッタに参加しており、今回も応援団を加えて約 30 数名の参加であった。私たちはハンブルグ中央駅近くのアルスター湖沿いのホテルに宿泊した。私は大会の合間に時間を見つけて観光船に乗り、アルスター湖と周辺の運河巡りをした。湖と周辺の運河にはいくつかのボートやヨット、そしてカヌーのクラブハウスがあり、週末は言うに及ばず、平日でも夕方になると親子が、そして中高年の人々が、それぞれにのんびりと舟遊びを楽しんでいる光景をみながら、わが国ではこのようなゆとりのある生活がいつになったらできるようになるのだろうかと考えたりした。

来年の大会はスコットランド・グラスゴー郊外のコースで行われる。エンジンバラや湖水地方も近く観光にもよいところである。ぜひ、わが国からも多くのマスターズの方々が参加され、レースを楽しまれることを願って大会参加報告の筆を置くこととする。

一漕と一服の茶と一撃

伊藤壽洪 (12 期)

「一漕と一服の茶と一撃」なる表題は三題漸に思えるが、私のなかでは非常に関連がある。ボートの試合会場において他チームが一漕入魂なる標語入りの T シャツを着ていることを時々見受ける。この言葉はボート界では古くから言われているみたいである。言われている事柄は十分すぎるほど分かる。本当に一人一人が一漕入魂でレースを漕いだら優勝は夢でなからう。

しかし、還暦過ぎた今、体との相談で漕いでいる現状では、それは理想であり、到達目標である。

同じような事は、長年親しんできた茶の湯にも言える。還暦を過ぎ、茶の湯と自分を考えると、茶の湯とは長い付き合いでありながら進歩が何も無いと自答せざるをえない。座敷に炉を切り、廊下に水屋を付け、細々と今まで、続けてきた茶の湯に何か意義を求めようとするのが間違いかもしれない。昔日の青臭さは取れているものの、未だ“枯れる”という所まで至っていないのである。「平常心での一服」の段階で右往左往しているのが実情である。

茶の湯の言葉に「薄茶平手前に始まり、薄茶平手前に終わる。」というのがある。薄茶、濃茶及びそれに関わる諸手前等は数あれど、結局、最初の薄茶平手前に帰るべしと言っている。

私の永年修行した中国拳法 形意拳 終南門派の極意格言に「拳は劈拳（へきけん）に始まり、劈拳に終わる。」とある。最も単純な形である劈拳から始め、複雑な形、技法を習得した後、最後に劈拳に戻るのである。最後が一念一撃の劈拳である事は、それまでの修行が一念一撃の為の精神集中過程であり、技の反復である事である。薄茶の平手前の動作、一服にその神経構造、その精神集中を連想するのは行き過ぎか。

又、「茶は有形より入り、無形に至る」とある。これも「薄茶平手前に始まり、薄茶平手前に終わる。」を別な角度から見たものと考えられる。単純な事ほど難しい事は無いといっているのであろう。

茶の湯の一服の茶、拳法の一念一撃も程遠いが、ボートにおいても、早くこのような境地、一漕入魂に入りたいものである。

ボートとヨットとソーラーボート その後

水谷 晃（18期）

以前、延々と表記の題で、序章である家の増築記を書きましたが、その後を手短に報告します。家は、2階の浴室と便所を残して工事を中断しています。尾張旭市が下水処理場を作り、我が家も利用できる段になったら仕上げるつもりです。

ソーラーボートのほうは建造を断念しました。坐骨神経痛がよくなるのが原因のひとつです。先輩の丹羽さんからナロウボートはいいぞ。だけど所有する必要はないよとの意見をいただいたことも断念の後押しでした。

（10年以上前に設計依頼をした私のソーラーボートは、設計者とのやりとりで、ナロウボートそのものに構想が変化していました。）

で、昨年、ボートの設計依頼を解約し、もどった設計料で家族旅行をして、名実ともに家族に対しても夢を断念したことを宣言しました。

かくなるうへは、来年のテムズ川でボートを漕ぐ企画に便乗もと思いましたが、突発仕事の多い部署になったので、これもがまん。

今は何で発散しているかといいますと、パソコン カラオケ。ミディなので音質は期待できませんが、ジャンルが広いので楽しめます。

この1月3日に新年会が終わった後、19回生の田淵氏、樋口氏、渡辺氏を我が家に招きパソコン カラオケで盛り上がりました。

完全にオジサンの世界に浸りきった我々を、帰省中の娘は、あきれかえって大笑いするばかり。でも彼らが帰ってから、自分の好きな曲を選んで一人楽しんでいましたから、まんざらでないかもしれません。

それではみなさん本年もよろしくおつきあいをお願いします。

16年度春期レース概要

■ 3月28日(日) 第31回中川運河ロングレース 愛知県・中川運河

約6000mのロングレース。種目ごとに順次スタートして、橋脚を避けながら、他クルーを避けながらの長丁場。

出場全16クルー中、旭丘高が6クルー・旭丘漕友会が3クルーでした。

旭丘漕友会からは以下の3クルーが出漕しました。

◆MKF (2クルー) 距離6000m 4クルー出漕

60歳代の2クルーよく健闘し、2位と3位でした。ちなみに1位のクルーは30歳代でした。

◆W1X (1クルー) 距離6000m 1クルー出漕

4月25日(日) 第15回マスターズレガッタ 愛知県・愛知池

MKF(65歳~の部) 距離300m 8クルー出漕

旭丘漕友会熟年組が出場。予選を見事1着で勝ち上がるも決勝4位。

惜しくもメダルを逃す。

MKF(55歳~64歳の部) 距離500m 18クルー出漕

旭丘漕友会壮年組が出場。予選は接戦を凌ぎ2着で順位決定戦に進出。

順位決定戦は力尽き4着に終る。

MKF(45歳~54歳の部) 距離500m 6クルー出漕

旭丘漕友会青年組が出場。予選3着で決勝進出ならず、順位決定戦に回る。

順位決定戦は接戦となるも、一歩及ばず。

M1X(45歳~54歳の部) 距離500m 5クルー出漕

レベルの高いレースについて行けず、無念の最下位！修行不足…年配クラスの頑張りに比して、若年クラスが相変わらず苦戦しています。

若手の参加が望まれます。吾こそは…と思う方は、是非！

5月15日(土)・16日(日) 第27回信毎諏訪湖レガッタ

第5回全国ナックルフォア大会 長野県・下諏訪漕艇場

MKF・B(漕手合計年齢200歳以上) 距離500m 6クルー出漕

気合充分に遠征するも、武運拙く6位に終る。

W2X 距離1000m 5クルー出漕

W1Xとのダブルエントリーで大学生・社会人に挑み、堂々と3位入賞。

W1X 距離1000m 12クルー出漕

Aクルー篠田(46期)とBクルー青山(特別会員)の2クルーが出場。

Bクルーは見事2位入賞。Aクルーは残念ながら予選落ち。

強風の悪コンディションの中、女性陣が頑張り2種目で入賞を果たしました。
さすがは青Tです。

17年度春期各レース参加者募集

もう春です。ボートシーズン開幕です。3月より漕友会の有志の水上練習（中川運河）が始まります。

レースは3月27日（日）の第32回中川運河ロングレースをかわきりに、4月24日のマスターズレガッタ、5月15日の信毎諏訪湖レガッタと続きます。
つきましては、これらのレースの参加者を募集します。出漕料は漕友会が負担します。手ぶらで結構です。是非来て、漕いでください。応援だけでも結構です。特に5月の信毎諏訪湖レガッタは一泊どまりで温泉に入り、リラックスした後のお楽しみレースです。気軽に参加して下さい。

出漕詳細未定ですので、参加者に決定次第お知らせいたします。

春期出漕予定レース

中川運河ロングレース	6000m	3月27日（日）	中川運河小栗橋～艇庫
マスターズレガッタ	500m, 300m	4月24日（日）	愛知池漕艇場
信毎諏訪湖レガッタ	500m	5月14日（土）15日（日）	下諏訪町漕艇場

申し込み等連絡先

レース担当幹事

伊藤壽洪（12期）電話 090-9928-3153 E-mail hisahiro@gakusen.ac.jp

佐分敦郎（23期）電話 052-877-2452 E-mail saburi@mbm.ocn.ne.jp

河村 剛（35期） E-mail gok@lilac.plala.or.jp

平成16年度 漕友会戦績

第31回中川運河ロングレース (愛知・中川運河 6000M)

2004/03/28

MKF

	クルー名	タイム	着順	
	トータスおじさん	33'25"	1	
	旭丘漕友会壮年組B	33'50"	2	
	旭丘漕友会壮年組A	36'25"	3	
	刺激X	40'15"	4	

W1X

	旭丘漕友会(篠田)	29'57"	1	
--	-----------	--------	---	--

第15回マスターズレガッタ (愛知・愛知池)

2004/04/25

MKF(65歳~) (距離)300M

予選C

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
3	旭丘漕友会熟年組	愛知	1'28"92	1	決勝
4	洲本RC・A	兵庫	1'37"98	3	順位決定
5	諏訪中漕陵会A	長野	1'31"58	2	順位決定

決勝E

1	洲本RC・B	兵庫	1'22"77	3	3位
2	京都洛陽ボートクラブ	京都	1'20"53	2	2位
3	名古屋大学艇友会A	愛知	1'12"40	1	優勝
4	愛知一漕会	愛知	1'41"88	5	
5	旭丘漕友会熟年組	愛知	1'24"67	4	

MKF(55~64歳) (距離)500M

予選D

2	名古屋大学艇友会B	愛知	2'10"87	1	決勝
3	41年会	滋賀	2'12"23	除外	
4	漕陵会62	長野	2'26"93	3	
5	旭丘漕友会壮年組	愛知	2'26"00	2	順位決定

順位決定E

2	名古屋大学艇友会関西	大阪	2'14"05	3	
3	愛知一漕会ジュニア	愛知	2'04"89	1	
4	京都SS(KSS)	京都	2'13"86	2	
5	旭丘漕友会壮年組	愛知	2'32"73	4	

MKF(45~54歳) (距離)500M

予選A

3	旭丘漕友会青年組	愛知	2'20"50	3	順位決定
---	----------	----	---------	---	------

4	京都ボートクラブ	京都	2'13"55	2	決勝
5	昇龍RC	愛知	2'07"57	1	決勝

順位決定C

3	旭丘漕友会青年組	愛知	2'20"95	2	
4	CA商友漕艇クラブ	愛知	2'20"14	1	

M1X (45~54歳) (距離)500M

決勝A

1	東京海上ボートC(竹内)	東京	2'03"88	3	3位
2	美浜RC(島田)	福井	2'01"40	2	2位
3	パルテ(間)	埼玉	2'04"22	4	
4	旭丘漕友会(佐分)	愛知	2'15"71	5	
5	パルテ(能村)	埼玉	1'45"09	1	優勝

第27回信毎諏訪湖レガッタ 第5回全国ナックルフォア大会 (長野・下諏訪漕艇場)

MKF・B(漕手合計年齢200歳以上) (距離)500M

レーン	クルー名	タイム	着順	
1	京都SS	2'13"71	1	優勝
2	酔漕楽団花組	2'24"20	4	
3	漕陵会62	2'27"29	5	
4	トータスおじさん	2'19"39	3	3位
5	京都洛陽	2'16"95	2	2位
6	旭丘漕友会	2'32"56	6	

W2X (距離)1000M

2004/05/15-16

決勝A

1	ソニー美濃加茂	4'03"08	2	
2	立教大	4'47"01	5	
3	旭丘漕友会	4'14"01	3	
4	全諏訪	4'25"32	4	
5	富山国際大	3'56"80	1	

W1X (距離)1000M

予選A

1	東北大(浜井)	4'48"82	5	
2	立教大B(渡辺)	4'21"80	3	
3	ソニー美濃加茂(恒川)	4'20"63	2	
4	ソニー美濃加茂(石田)	4'14"37	1	
5	旭丘漕友会A(篠田)	4'44"39	4	

予選B

2	ソニー美濃加茂(恒川)	4'19"48	3	
3	ソニー美濃加茂(石田)	4'11"63	1	
4	立教大A(稀代)	4'29"79	4	
5	旭丘漕友会B(青山)	4'16"89	2	

決勝A

1	旭丘漕友会B(青山)	4'14"65	2	
---	------------	---------	---	--

2	ソニー美濃加茂(恒川)	4'23"44	5	
3	ソニー美濃加茂(役川)	4'16"71	3	
4	ソニー美濃加茂(三輪)	4'09"62	1	
5	ソニー美濃加茂(石田)	4'17"62	4	
6	ソニー美濃加茂(後藤)		棄権	

第46回(名古屋)市民スポーツ祭 (愛知・中川運河 1000M) 2004/08/08

M1X 佐分出漕決勝進出ならず

W1X 篠田出漕決勝進出ならず

第22回 名古屋レガッタ (愛知・中川運河) 2004/09/19

MKF (ローピッチ・漕手年齢合計241歳以上) (距離)500M

予選A

レーン	クルー名	タイム	着順	
2	名古屋大艇友会B	2'29"31	1	決勝
3	旭丘漕友会60		棄権	
4	旭丘漕友会壮年組A	2'39"11	2	決勝

予選B

1	名古屋港漕艇センター	3'04"91	4	順決
2	CA商友漕艇クラブ	2'44"55	1	決勝
3	八高ボート部	3'02"29	3	順決
4	旭丘漕友会壮年組B	2'46"00	2	決勝

決勝D

1	旭丘漕友会壮年組B	2'46"00	3	3位
2	旭丘漕友会壮年組A	2'40"69	2	2位
3	名古屋大艇友会B	2'35"63	1	優勝
4	CA商友漕艇クラブ	2'46"22	4	

MKF (ミドルピッチ・漕手年齢合計201歳以上) (距離)500M

決勝A

1	緑悠会「信濃」	2'42"76	3	
2	緑悠会「雪国」	2'35"51	1	
3	旭丘漕友会青年組	2'50"64	4	
4	名古屋大艇友会D	2'36"97	2	

決勝B

1	旭丘漕友会青年組	2'45"31	4	
2	緑悠会「信濃」	2'16"86	1	優勝
3	名古屋大艇友会D	2'32"00	3	3位
4	緑悠会「雪国」	2'31"60	2	2位

M1X 佐分出漕決勝進出ならず

第5回 グリーンチャンピオンシップスレガッタ (愛知・愛知池) 2004/10/24

M1X (45~54歳) (距離)500M

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
-----	------	----	-----	----	--

4	旭丘漕友会(佐分)	愛知	2'13"57	2	
5	本田技研(福井)	三重	2'10"16	1	優勝

平成16年度 現役戦績

現役クルーの戦績については、紙面の都合上ビッグレースのみ記載しました

第15回**全国高校選抜大会** (静岡・天竜川 2000M) 2004/03/20-21
 M4X+ (大西・水野・平岡・皆川・葛原)
 予選3組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	旭丘高	愛知	6'56"79	1	準決勝
2	瀬田工業高	滋賀	7'03"73	3	準決勝
3	江津工業高	島根	7'10"96	5	
4	大沢野工業高	富山	7'11"79	6	
5	慶応義塾志木高	埼玉	7'01"06	2	準決勝
6	青森高	青森	7'07"44	4	

準決勝2組

2	日田三隈高	大分	7'09"50	3	
3	今治西高	愛媛	7'05"98	2	順決
4	旭丘高	愛知	7'01"13	1	決勝
5	黒沢尻工業高	岩手	7'23"88	4	

決勝1組

2	慶応義塾志木高	埼玉	7'17"44	4	4位
3	関西高	岡山	7'05"61	1	優勝
4	旭丘高	愛知	7'08"85	2	2位
5	浜松湖南高	静岡	7'13"26	3	3位

M1x (鈴木出漕、準決勝)

W1x (田上出漕、5位入賞)

第31回中川運河ロングレース (愛知・中川運河 6000M) 2004/03/28

M1x W4X+ 出漕上位独占

第49回中日本レガッタ (愛知・愛知池) 2004/04/16-18

少年M4X+、少年M2X、少年M1X、

少年W4X+、少年W2X、出漕

第27回信毎諏訪湖レガッタ (長野・下諏訪漕艇場) 2004/05/15-16

少年M4X (大西・水野・平岡・皆川・葛原)
 +

少年M2X、少年M1X、少年W4X+、

少年W1X、出漕

愛知県高校総体 (愛知・愛知池 1000M) 2004/05/22-23
 M4X+ (大西・水野・平岡・皆川・葛原)
 M2x、M1x、W2x、
 W1x、出漕

第50回 東海高校総体 (岐阜・川辺漕艇場 1000M) 2004/06/19-20
 M4X+ (大西・水野・平岡・皆川・葛原)
 M1X、
 W2X、W1X、出漕

2004 国体愛知予選 (愛知・愛知池 1000M) 2004/07/17-18
 少年M4X (大西・水野・平岡・皆川・葛原) 東海大会
 + ^
 少年M1X (山本) 2回戦敗退
 少年W4X+ 2回戦敗退
 少年W1X (田上) 東海大会へ

第46回(名古屋)市民スポーツ祭 (愛知・中川運河 1000M) 2004/08/08
 M4X+ M2X、W4X+、W2X、 W1X、 出漕

第52回全日本高校選手権(インターハイ) (広島・芦田川 1000M) 2004/08/05-08
 M4X+ (大西・水野・平岡・皆川・葛原)
 予選2組

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	大沢野工業高	富山	3'37"59	2	準々決勝
2	熊本学園大付高	熊本	3'46"91	6	
3	早稲田高等学院	東京	3'45"30	5	
4	旭丘高	愛知	3'31"46	1	準々決勝
5	西市高	山口	3'40"74	4	
6	佐沼高	宮城	3'38"18	3	準々決勝

準々決勝6組

1	青森高	青森	3'38"83	6	
2	恵那高	岐阜	3'35"98	3	
3	旭丘高	愛知	3'29"70	1	準決勝
4	潮来高	茨城	3'36"49	4	
5	新潟南高	新潟	3'34"15	2	準決勝
6	桜宮高	大阪	3'37"90	5	

準決勝2組

1	沼津東高	静岡	3'27"34	4	
2	越ヶ谷高	埼玉	3'25"65	2	決勝
3	小浜水産高	福井	3'26"84	3	決勝
4	諏訪清陵高	長野	3'30"68	5	
5	旭丘高	愛知	3'25"21	1	決勝
6	新潟南高	新潟	3'31"27	6	

決勝

1	石狩翔陽高	北海道	3'42"42	6	
2	越ヶ谷高	埼玉	3'33"70	4	
3	宇和島水産高	愛媛	3'35"45	5	
4	小浜水産高	福井	3'32"45	3	3位
5	関西高	岡山	3'30"80	2	2位
6	旭丘高	愛知	3'30"60	1	優勝

M1×

予選6組

1	膳所高(松本)	滋賀	4'20"75	4	
2	広島工大高(佐々木)	広島	4'27"57	5	
3	津久井高(寺島)	神奈川	4'07"19	1	準々決勝
4	旭丘高(鈴木)	愛知	4'20"42	3	準々決勝
5	唐津西高(古川)	佐賀	4'17"38	2	準々決勝
6	小樽桜陽高(綱岸)	北海道	5'13"07	6	

準々決勝4組

1	藤岡高(木村)	栃木	4'21"94	5	
2	旭丘高(鈴木)	愛知	4'17"98	4	
3	小浜水産高(川越)	福井	4'08"98	2	準決勝
4	諏訪清陵高(高木)	長野	4'08"44	1	準決勝
5	山田高(長崎)	岩手	4'17"04	3	
6	新潟南高(山口)	新潟	4'22"98	6	

W1×

予選3組

1	七尾高(西川)	石川	4'51"94	3	準々決勝
2	岡豊高(廣瀬)	高知	5'15"39	6	
3	秋田高(浅利)	秋田	4'52"41	4	
4	旭丘高(田上)	愛知	4'38"29	1	準々決勝
5	宮崎商業高(川谷)	宮崎	5'03"82	5	
6	富士河口湖高(奥脇)	山梨	4'45"48	2	準々決勝

準々決勝6組

1	西市高(松井)	山口	4'38"82	4	
2	小見川高(香取)	千葉	4'43"84	6	
3	旭丘高(田上)	愛知	4'29"65	1	準決勝
4	西和賀高(高橋)	岩手	4'40"28	5	
5	東濃実業高(川合)	岐阜	4'36"91	3	
6	館林女子高(岡田)	群馬	4'36"10	2	準決勝

準決勝2組

1	浜松北高(大城)	静岡	4'12"17	2	決勝
2	旭丘高(田上)	愛知	4'13"14	4	
3	洲本高(福田)	兵庫	4'12"11	1	決勝
4	日田三隈高(梶原)	大分	4'12"19	3	決勝
5	田名部高(佐藤)	青森	4'17"74	5	

6	館林女子高(岡田)	群馬	4'25"64	6	
---	-----------	----	---------	---	--

国体東海ブロック大会 (愛知・中川運河 1000M)

2004/08/15

少年M4X

(大西・水野・平岡・皆川・鈴木)

+

1回戦

レーン	クルー名	県名	タイム	着順	
1	旭丘高	愛知	3'08"43	2	
2	静岡県選抜	静岡	3'07"17	1	
3	恵那・加茂混成	岐阜	3'09"05	3	
4	三重選抜	三重	3'25"54	4	

2回戦

1	三重選抜	三重	3'23"87	4	
2	旭丘高	愛知	3'10"70	2	全国大会
3	静岡県選抜	静岡	3'09"71	1	全国大会
4	恵那・加茂混成	岐阜	3'12"15	3	

少年W1x

1回戦

1	旭丘高(田上)	愛知	3'54"31	1	
2	静岡県選抜	静岡	4'01"67	3	
3	東濃実業高	岐阜	4'00"43	2	
4	昴学園高	三重			棄権

2回戦

2	東濃実業高	岐阜	4'11"09	3	
3	旭丘高(田上)	愛知	4'01"94	1	全国大会
4	静岡県選抜	静岡	4'07"52	2	

第59回国民体育大会 (埼玉・戸田 1000M)

2004/09/11-14

少年M4X

(藤田・水野・鈴木・皆川・峰)

+

予選D

	クルー名	県名	タイム	着順	
	富山選抜	富山	3'28"24	1	準決勝
	鹿児島選抜	鹿児島	3'29"38	2	準決勝
	島根選抜	島根	3'30"25	3	
	旭丘高	愛知	3'32"19	4	
	富士河口湖高	山梨	3'36"26	5	

敗復B

	京都選抜	京都	3'21"76	1	準決勝
	大分選抜	大分	3'23"40	2	準決勝
	旭丘高	愛知	3'24"99	3	
	岡谷東高	長野	3'29"38	4	
	富士河口湖高	山梨	3'29"75	5	

少年W1x
予選D

	旭丘高(田上)	愛知	4'30"06	1	準決勝
	大村城南高(中野)	長崎	4'36"13	2	準決勝
	加古川西高(藤原)	兵庫	4'37"83	3	準決勝
	石狩翔陽高(秋篠)	北海道	4'46"72	4	
	大宮高(中川)	埼玉	4'48"71	5	

準決勝B

	津久井高(五十嵐)	神奈川	4'07"28	1	決勝
	旭丘高(田上)	愛知	4'09"62	2	順決
	熊本学園大付(櫻井)	熊本	4'11"70	3	
	大村城南高(中野)	長崎	4'14"53	4	

5-8位決定戦

	日田高(河津)	大分	4'01"56	5	5位
	今治南高(黒田)	愛媛	4'02"67	6	6位
	旭丘高(田上)	愛知	4'03"36	7	7位
	加古川西高(藤原)	兵庫	4'11"83	8	8位

第22回 名古屋レガッタ (愛知・中川運河 1000M) 2004/09/19
M4X+ (旭丘高2004:田上・水野・平岡・皆川・葛原)
M2X 旭丘A優勝
M1X W4X+、W1X、

第37回愛知県高校新人戦 (愛知・愛知池 1000M) 2004/10/02-03
M4X+ M2X、M1X、W2X、
W1X 出漕
第18回 中部高校選抜大会 (愛知・愛知池 1000M) 2004/10/16-17
M2X M1X、W2X、出漕

ご あ ん ない

「漕友」をインターネットの「旭丘高校漕友会」のホームページで御覧いただきますと、カラー写真のきれいな紙面を見ることが出来ますので、ホームページもご活用下さい。